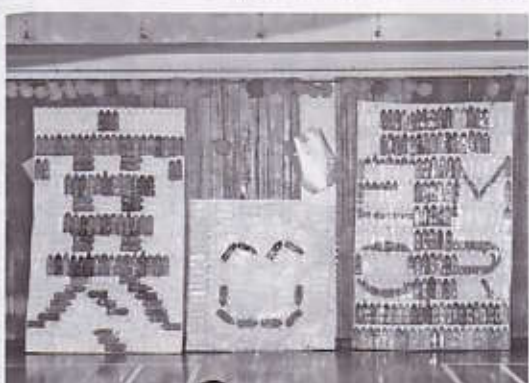




発行所
山形県立寒河江工業
高等学校 P T A
山形県寒河江市緑町148
電話 (86) 4278

第 68 号
平成25年2月5日



早いもので平成二十四年度も、会員皆様の暖かいご支援とご協力により間もなく終えようとしています。また来年度以降に向けての検討課題が山積みとなつていような状況ですが、とりあえずこの場を借りて今年度のPTA活動を振り返ってみたいと思います。四月、年次の

一年を振り返って



PTA会長

兼子 忠雄

の参加が、

年にも引続いて50%後半の出席率がありました。唯、二次の出席率が毎回低く、学年総会時に興味を持って参加できるとは思いません。六月から十月迄は、各地区毎の親子ボランティア活動がありました。十月の寒工祭の時に、活動中の写真を拝見しましたが、どの地区も活発に活動されていて嬉しく、又誇らしく思いました。同じく夏季懇談会、学校側と地区会員とが相互に話し合える唯一の場です。常日

頃、疑問に感じていたり、困っている事、悩んでいる事など、一人で考えているのではなく、こういう時に問題点を出して話し合うべきなのです。多分、他の人も同じ事で悩んでいるはず。七月、親子レクリエーションでは、昨年と同じく、男女共ソフトバレーボール競技を行ないました。天候に左右されず、又来年度からの会員数減に伴っての男女混合競技をも見据えて、検討課題の一つです。九月、去年までは恒例となつていた寒河江神輿祭りへの参加が、

直前での脅迫という事で、中止決定は致し方のない処置ではあります。が、今後こういつた場合にはどう対処すべきなのか、これも検討課題の一つです。十月、今年度は三年に一度の大のつく寒工祭がありました。校内外は大変盛り上っていました。PTA関連のブースには、会員の出席が少なく、残念に思いました。という事で今年度を一気に駆け足で振り返ってみたいが、いかがだったでしょうか。

各専門部より

一年間を振り返って

総務部部長 渋谷 憲和

平成24年度の活動も残りわずかとなりました。総会では多くの皆様に出席していただき、これからの各活動の指標と考えております。又、地区懇談会、ボランティア活動、村山地区PTA研修会、本年は大寒工祭と各活動への参加してきました。残念ながら神輿の祭典には参加できませんでしたが来年は元気な寒工生を見せたいと思います。

平成25年度から生徒減少に伴いPTA組織改編もほぼ確定で来年以降の活動も活発なものになると期待します。PTA会員のご声援とご協力をいただき誠にありがとうございます。

野菜を育てよう

育成部部長 五十嵐和彦

みなさんから御協力をいただき、三年間育成部をやる事が出来ました。寒工生も健康な心を持って、高校生活を過ごしているのは素晴らしい事です。

です。ところで野菜を育ててみませんか？野菜の種を蒔いて育てて下さい。きつと人から教えらるる以上に、その野菜からたくさん学ぶ事があるはずです。寒工生も「輝くエンジニア」としての種を蒔いて行きましょう。明日の種を蒔くのは今日です。

挨拶運動で交わした「おはよう」は、大きな根として広がって行きます。あつという間の三年間でしたが、ありがとうございました。

一年間をふりかえって!!

体育部部長 渋谷 俊広

今年度のPTA活動も残りわずかとなりました。

私は三年間体育部をしてきましたが、体育部の最大の行事である地区対抗レクリエーション大会では白熱した試合で盛大に行われ、体育部員、先生方の協力を頂き大会も大成功に終わりました。

今年も男女共にソフトバレーボールを行い、現在のPTA組織での大会は最後になりましたが、会員同士

の親睦を深めるためにもこれからも継続していつてもらいたいものです。

最後に皆様に感謝を申し上げます。

感謝

文教部部長 荒木 修一

私は三年間文教部の活動を行って参りました。伝統ある寒工高PTA新聞「輝くエンジニア」の発行を年二回行いました。今年度は、村山地区高校PTA研修会に参加させていただきました。研修会では各高校の代表者からの学校の紹介やPTA活動の発表があり共感ができ有意義な研修会となりました。

子ども達が目標を持ち、楽しく生き活きとした高校生活を送ることが出来たのも、教職員の皆様のおかげだと思います。

最後になりますが、PTA新聞発行にご協力頂きまして、本当にありがとうございます。



保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に対してご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。24年度を振り返ってみますと様々な生徒の活躍があります。資格取得では、技能検定では12月までに34名の合格者を出しました。なかでも、難関の2級に電子機器組み立ての部門で3年情報技術科の2名が合格しています。工業校長会にはジュニアマイスター制度がありますが、8月段階でゴールドに1名、シルバーに8名が認定されています。他にもいろいろな資格に挑戦して成果を上げてくれました。

部活動では、陸上部、弓道部、吹奏楽部が東北大会出場等の結果を出してくれました。部活動は、結果も大切ですが、毎日の練習に励むことが何よりも大切なと考えています。行事では、まず神輿祭りが参加中止となりました。保護者の皆様にもご心配をおかけしました。非常に残念なことでしたが、生徒は冷静に対応してくれました。そして先に行われた生徒会役員選挙、生徒総会では、是非来年は実施したいという声が多く聞かれ、誠に頼もしく思いました。

大寒工祭は生徒会執行部を中心に運営され、全校一丸となってすばらしい学校祭になりました。



校長 菅原 和明

50周年の節目を迎え

菅原 和明

2学年の修学旅行、実りの多い修学旅行でした。3年生に向けて良い体験を得たものと思っています。3年生の進路では、昨年より求人数は増えたとはいえ、相変わらず厳しい就職状況ですが、全員が決まりました。就職内定者の内訳は、県外就職者3名、県内就職者74名となっています。地元就職に強い本校の特色が表れた結果となっています。

さて、来年度2013年は本校創立50周年の節目となる年を迎えます。「地域に根差し、本校の特色を生かしながら、常に前進する学校」を目指しワンランクアップを目指した取り組みを進めていきます。

49周年の創立記念式典の式辞でも触れたことですが、取り組みの柱になるのは

- ① 資格取得を目指し、知識、技術、専門性の高い人材の育成
- ② 進路目標を高く持つ、それを達成できる人材の育成
- ③ ものづくり、研究活動、部活動の充実

以上三点と考えています。保護者の皆様のご協力を得ながら、生徒一人一人の伸長を図ってまいりますので、よろしくお願いたします。

進路面 5:よい 4:少しよい 3:普通 2:やや不十分 1:不十分

	生徒	保護者	教員	全体
1 生き方や生涯設計を自ら考える「キャリア教育」において、本校の取組みはどうでしたか。	3.9	3.6	3.3	3.6
2 進路指導において、本校からの情報提供の取組みはどうでしたか。	3.9	3.5	3.7	3.7
3 進路指導において、生徒の希望や適性などを生かす本校の取組みはどうでしたか。	3.8	3.5	3.7	3.6
平均	3.8	3.5	3.6	3.6
昨年度	3.6	3.5	3.6	3.6

学習面

	生徒	保護者	教員	全体
4 コースや科目の選択において、本校からの情報提供の取組みはどうでしたか。	3.8	3.3	3.4	3.5
5 校外学習(インターンシップ・セミナー工場見学・修学旅行等)で、本校の取組みはどうでしたか。	4.1	3.9	4.2	4.1
6 本校では個人を大切に、分り易い授業に心掛けていますが、取組みはどうでしたか。	3.6	3.5	3.6	3.5
7 自宅や放課後などでの家庭学習において、本校の取組みはどうでしたか。	2.7	2.8	2.7	2.5
8 学習成績の評価において、本校での評点・評定の適正さや妥当性はどうか。	3.8	3.6	3.9	3.8
平均	3.6	3.4	3.4	3.5
昨年度	3.5	3.4	3.3	3.4

保健面

	生徒	保護者	教員	全体
9 保健活動(保健や健康・安全指導など)において、本校の取組みはどうでしたか。	3.8	3.6	3.8	3.7
10 個別相談やカウンセリング活動などにおいて、本校の取組みはどうでしたか。	3.5	3.4	3.7	3.5
平均	3.6	3.5	3.8	3.6
昨年度	3.4	3.5	3.8	3.6

生活面

	生徒	保護者	教員	全体
11 生活指導(マナー向上や事故防止など)において、本校の取組みはどうでしたか。	3.7	3.6	3.5	3.6
12 生徒会活動(部活や委員会など)において、本校の取組みはどうでしたか。	3.8	3.7	3.9	3.8
13 学級活動(学校祭・クラスマッチ行事や清掃など)において、本校の取組みはどうでしたか。	4.0	3.7	3.6	3.8
14 社会参加(校外発表・刺繍寄贈・若草の道等)で、本校の取組みはどうでしたか。	3.9	3.6	3.7	3.7
平均	3.8	3.7	3.7	3.7
昨年度	3.8	3.8	3.7	3.7

庶務面

	生徒	保護者	教員	全体
15 PTA関連(地区懇談会・総会・ボランティア・レクリエーション等)で、本校の取組みはどうでしたか。	3.7	3.8	3.8	3.8
16 校地・校舎の環境美化や整頓において、本校の取組みはどうでしたか。	3.5	3.4	3.4	3.4
17 事務関連(手続き・金銭管理・応対など)において、本校の取組みはどうでしたか。	3.6	4.0	3.8	3.8
18 本校の教育方針において、生徒・保護者のとらえ方や理解はどうでしたか。	3.3	3.5	3.4	3.4
平均	3.4	3.6	3.7	3.6
昨年度	3.3	3.6	3.7	3.5

総合的な満足度

	生徒	保護者	教員	全体
19 総合的に、本校への満足度はどうか。	3.7	3.6	3.6	3.6
平均	3.7	3.6	3.6	3.6
昨年度	3.5	3.7	3.7	3.6
全平均	3.7	3.5	3.6	3.6
昨年度	3.5	3.6	3.6	3.6

○ 回収率は、95・8%。
(昨年度より2・9%増)

○ 昨年度と各領域ごとの全体

○ 3点未満の項目は、⑦のみ。今後、記述部分を含めて結果を分析し、来年度に活かしていきます。

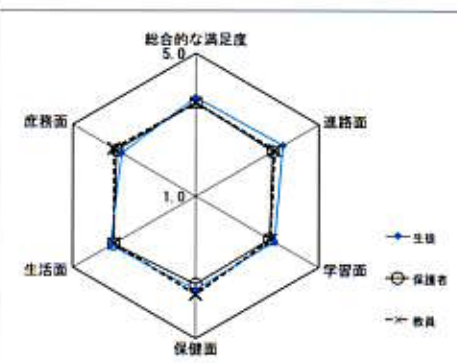
○ 領域で高いポイントは、⑤である。

○ 平均値は、ほぼ同じ。

総務部

平成二十四年度
学校評価アンケート

総務部長 菊池 敏宏



寒河江工業高校と左沢高校のキャンパス制について Q&A

寒河江工業高等学校

Q1 キャンパス制の目的は何ですか。

A1 平成25年度より寒河江工業高校と左沢高校の小規模校同士が、両校の特色を活かした連携・交流を図ります。

Q2 キャンパス制の特徴は何ですか。

A2 キャンパス制になっても両校の校名や校舎は変わりません。今までどおり、それぞれ独立した高校です。寒河江工業高校は左沢高校との連携・交流により職業に関する視野を広げながら、地域と密着した「ものづくり教育」を行います。

Q3 両校でどんな連携・交流をするのですか。

A3 ①生徒会の交流をします。お互いの生徒会役員が話し合いをしてどんな生徒会行事やボランティア活動ができるかを考えていきます。
②年1回合同の講演会を開催します。両校の生徒が興味をもつ講師を招いて行う予定です。
③資格取得のための講習を両校で開講し自由に受講することができます。(例えば寒河江工業高校の生徒が左沢高校に行き、商業系・農業系の資格を取ることもできます。)
④3年生で履修する「課題研究」において、西村山地域への貢献に関するテーマにも取組みます。

Q4 左沢高校の授業を受けることはできますか。また、左沢高校の先生による出張授業はありますか。

A4 授業は受けることはできません。出張授業もありません。

Q5 入学試験や入学式、卒業式は一緒にするのですか。また、お互いの学校へ転校できますか。

A5 それぞれの学校で行います。転校はできません。

Q6 左沢高校の部活動に参加することはできますか。

A6 部活動によっては合同練習をする部もあるかもしれませんが、左沢高校の部に入部することはできません。

寒河江工業高校と左沢高校のキャンパス制について

教頭 齋藤 昌広

中学校卒業後者の減少に伴う西村山地区の高校再編整備計画により、本校は平成25年度から土木科を募集停止し、機械科・電子機械科・情報技術科の3学科の募集となり、1学年は3クラス120名の編成になります。3つの学科は、名称は以前と同じですが、学習指導要領の改訂

に伴い、教育課程を改定します。各学科共、実習・課題研究の単位数を増やし、ものづくりを重視した教育内容に変わります。また、平成25年度から左沢高校と本校はキャンパス制を導入し、連携・交流を図っていきます。内容については、左のQ&Aを御参照下さい。

我がまちのトピックス

「公園の清掃作業を通じ」

寒河江西地区会長

渋谷 憲和

「わがまちカーニバル清掃」

柴橋地区会長

渡邊 鉄也

寒河江西地区は、毎年この森の清掃活動を行っています。管理棟を中心に公園のメインになる所のゴミ拾いをやっています。早朝六時に集合で天候にも恵まれ作業を進めることができました。私も三年目となりますが、いつも思うことがあります。常に公園の管理されているにもかかわらず、各自が持参しているレジ袋に多くのゴミが集まることです。内容は、タバコの吸い殻、食物の袋、釣り糸等が大半です。いかにマナーがなってないかということですが、それぞれの目的で楽しんでいくわけなので最低のマナーだけは守ってもらえればもっと楽しめるのではないのでしょうか。この活動を通してマナーを守るこの大切さを感じてくれたと思います。



今年も、寒工高柴橋地区のカーブミラー清掃のボランティア奉仕活動を行っています。また、平成25年度より四クラスから三クラスに伴い、十三地区から十一地区へと改編される為、寒河江南地区との統合により、今年度をもって最後となりました。地元の方々からは勿論、安全協会の方々からもご苦勞様の声がありました。



成長させてくれたもの

前生徒会長 鈴木 竜之



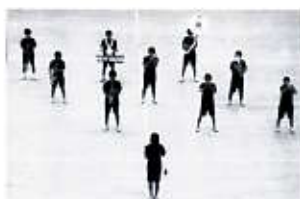
私が寒河江工業に入学して、三年が経とうとしています。

まず、この三年間を振り返ると、とても充実した楽しい学校生活でした。その三年間の中で私を大きく成長させてくれたのは、生徒会長として皆の前に立ち、物事を進めたり、様々な行事に参加して、貴重な体験をしたからです。私が生徒会長に立候補するまでは、あまり人の前に立ち物事を進めるという経験はありませんでした。しかし、前生徒会長の皆さんが先頭に立ち全校生徒を引っ張っている姿は、とてもかっこよく私も学校を盛り上げていきたいと思うようになりました。そして、生徒会長になってからの一年間は、とてもつらい経験もありましたが、大寒工祭なども成功させることができました。

この一年間は、全校生徒や生徒会のメンバー、先生方にも大変お世話になりました。一年間本当にありがとうございました。

全日本マーチングコンテスト東北大会に参加して

吹奏楽部顧問 舟 越 美和子



全日本マーチングコンテスト山形県大会が9月22日、天童市の県総合運動公園で行われた。本校吹奏楽部はビギナー部門銅賞を頂き、東北大会へ出場することができた。

東北大会は青森県マエダアリーナで行われた。

今まで本校吹奏楽部はコンテスト等に参加したことはなく、自分たちで黙々と活動を行ってきた。今回このような機会に恵まれ、生徒たちにとってコンテスト参加は大きな自信に繋がったと思う。他団体は華やかな衣装を身に纏い、大人数での出場である。本校吹奏楽部は10名という小人数であり、体育着での参加であった。そのような中で生徒たちは堂々と演奏を行い、たくさんの声援と拍手を頂いた。

このような機会を作っていただき、応援してくださった関係の皆様及び保護者の方々に感謝を申し上げたい。そして、生徒たちの努力にもう一度拍手を送りたいと思う。

目標達成のために

バスケットボール部部长 鴨 田 直 紀



我々バスケットボール部は、3年生から2年生に代わりした時、新たに目標も立てた。それは、「一部昇格」「県ベスト8」というものである。目標達成のために、日々の練習に励んでいる。

11月に地区新人戦があった。第2回戦で一部である山形学院高校との試合に勝利し、県大会を決めた。県大会には16校の学校が出場する。一回勝てば、目標であるベスト8になれるのだ。県新人戦で良い結果を出せるようにしたい。また、2月には冬期リーグという一部に昇格するチャンスがある。一回も負けられないので頑張りたいと思う。

2年生が高校生としてプレーできる期間も少なくなってきた。日々の練習を大切に、一つでも多く勝ち、目標達成できるようにしていきたいと思う。

修学旅行から見えてきたこと

二年主任 佐 藤 正

修学旅行は、高校三年間の中でも、進路決定に次ぐ行事の一つに位置づけられる。昨今では、家族旅行などでも気軽に遠方まで旅行できる環境で、旅行そのものは決して珍しいことではなく、珍らしい少子化が進み、多くの大人がいる環境で育ち、失敗し叱咤されることなく、大人の手助けで育ち、物事の選択、行動責任を感じる経験が乏しい今の若者には、むしろ修学旅行は学校だけでは学ぶことができない貴重な学習の場になっているのではないだろうか。

本学年は、入学当初から三年間で自立した生徒の育成を目指し、学年一丸となり独自の取組を試みてきた。その一環として修学旅行も生徒自身で発案・計画実行し、責任を持てる旅行にできないかと菅谷先生をチーフとした担任の先生方に計画していただいた。そして、三泊四日の日程の中で、唯一クラス毎研修を一日のみとし、他三日は、班員で考案し決定したコースを計画的に実施し、定められた時間まで無事終了するプランができた。

初日は、大阪ミナミ地区で

班毎に解散し京都の宿に夕方五時半までに到着する日程。生憎の雨だが、各班に分かれ意気揚々に散って行った。早い班は夕方四時には宿に到着。殆どの班は予定の時間まで宿入りしたが、一つの班が道に迷い遅刻。あせる気持ちとかかなりの距離を雨の中急いだのであろう、全身ずぶ濡れで、靴下まで濡れていた。皆、疲れきった重い足取りで、ようやく宿にたどり着いた。安堵の表情と申し訳ない表情が滲み出ていた。二日目以降も、だれ一人欠けることなく、全日程を予定通り実施。朝食時も眠い顔している生徒は居らず、一五七名全員が、すべき事を知り、一人一人が手際よく終え、次に備えている。この姿を見られたことがこれまでの成果だろうと思った。

高校生活もいよいよ後半戦。この貴重な財産を活かし、生徒諸君に益々躍進して欲しいと願いたい。



生徒会長の言葉

生徒会長 阿部 航瑠



私は寒河江工業高等学校の後期生徒会長を務めさせていただきます。

私が生徒会長になるうと思っただのは、常任委員を続けてきて、鈴木生徒会長を始めとする生徒会役員の先輩方の姿を見て、学校を引っ張っていきたくと思ったからです。私には目標があります。先輩友人、多くの後輩達が、「この学校を卒業できてよかった」「楽しい三年間だった」と言ってもらえる学校にすることです。そのために、学校行事に力を入れていきたいと思っています。特に寒河江みこし祭りや寒工祭を盛り上げていきたいです。みこし祭りには昨年、参加することができなかったのですが、先輩の方まで盛り上げたいと思います。寒工祭では、大寒工祭に負けなように盛大なものにしたいです。また、一般のお客様も楽しめるようにしたいです。

これから一年間、生徒会中心に精一杯頑張りますので、よろしく願います。

本校の特徴は言うまでもなくモノを作ることである。保健委員会では毎年寒工祭での展示・発表を行っているが、生徒たちの特技を生かせるものはないかと以前から考えていた。全校生徒対象のアンケートで最も興味・関心の高かった人体の筋肉系と骨格系が今年度の展示テーマに決定し、早速その模型作りが始まった。赤筋と白筋をゴムの束で表現した上腕筋、スポンジを椎間板に見立てた柔軟性のある背骨など資料集を参考にしながら連日製作に没頭した。三年生にもなる

「モノ作り」を生かした保健活動

看護教諭 室岡由美子

保健部より

と道具の選び方や使い方がプロっぽくなり、素人の私にはわからない専門用語が飛び出す。最終的に四つの模型が完成した。その結果は西村山地区の児童生徒学校保健研究大会でも発表の機会を得た。そしてそれ以上に素晴らしいのは、製作に向かう生徒たちの「チームの和」である。今やモノ作りも職人気質で一人コツコツという時代ではなく、チームでひとつのモノを作り上げる時代に変わってきていると感じるが、まさにそれが体現された活動だったと思う。完成品もさることながら、お互いに心を通わせモノを作っていくというプロセスを、今後も大切にしたい。今回は、それが自分たちのからだを見つめるきっかけとなれば幸いである。

また、生徒の活動に目を移すと『ものづくり』への関心が高く、積極的に取り組んでいる生徒たちがいる。陰で支

れしく思った。



新任の先生より

輝くエンジニア

教諭 梁瀬 誠

のづくりの「楽しさ」を知っている生徒たちを多く見て頼

もしく思った。これら2つを併せ持つことが『輝くエンジニア』に繋がると私は思う。そんな生徒が大勢いるこの学校が好きだ。

新たな寒工を目指して

三年主任 貝田 裕 昭

平成22年度入学生も卒業の時期を迎える頃となりました。これまでの三年間にわたる教育活動に対し、保護者、後援会、地域の方々には御理解と御支援を賜り誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。皆様のお力添えをいただき本学年140名全員が進路を達成し、この学年を果立つまでに至りました。

のキャンパス制が実施されました。これまでも、学科変更など様々な変革を行いながら工業人の育成を図り地域の方々と共に歩んで参りましたが、次年度実施の新教育課程導入に合わせて、より学校PTA地域の連携を強固にすることが急務となります。

さて、本校は今年創立50周年を迎えることとなり、一層地域に根ざした工業高校を求め、『輝くエンジニア』の育成に努めなければならない新たな時代を迎えることとなります。その一つに、県が示す「県立高校教育改革実施計画」及び「各学区の年次計画」に基づき次年度から県立左沢高校と

これら二つのことを踏まえて、三年を見通した計画的な教育活動はもとより、健全で心身のバランスのとれた生徒を育成するために文武両道、師弟同行の精神で工業人としての基礎づくりに励みたいと考えています。今度以上に地域の方々から信頼され、愛される学校にするため奉仕する覚悟です。今後とも御協力、御支援のほどお願い申し上げます。

進路指導部より

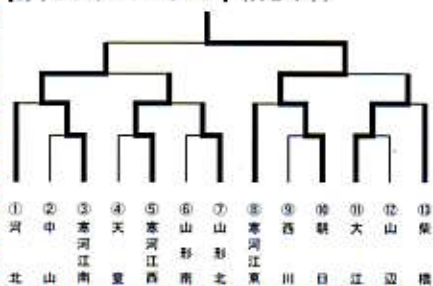
進路指導部長 佐藤 繁樹

進路希望を実現された三年生の皆さんおめでとうございませう。今後、社会人としての活躍に大いに期待しています。

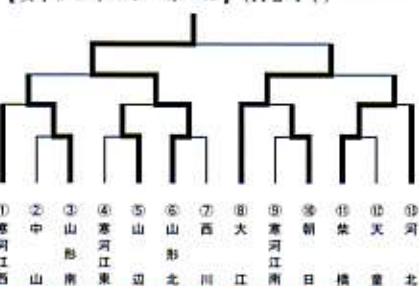
よる建設関係の求人が多い年でした。その求人に相反して本校土木科が次年度より入学募集を停止します。震災復興による需要とはいえ、生活の基盤を支える学科がなくなることは誠に残念なことです。進学については、今年も山形産業技術短期大学校へ十数名が合格したのをはじめ就職と同様、自宅通学可能な学校や地元に近い近隣の学校への入学が多い年でした。

今年度も関係者皆様のお蔭をもちまして、例年並みの進路内定が得られましたことを心より感謝申し上げます。

【男子ソフトバレーボール】(H24年)



【女子ソフトバレーボール】(H24年)



レクレーション結果